

チーム名

Both Easy Go

学校名

福島県立医科大学

学年

1年

◆アイデアの内容

(1) 製品アイデアの名称と製品概要



名称

暑熱順化サポーター：ねつじゅん

<概要>

【どのような場面で活躍する製品ですか？】

春から夏にかけて気温の上昇に体が追い付かないと熱中症の危険度が高まります。その期間を中心に日常や運動時、外出時などにこの製品を被ることで汗の塩分濃度、額の表皮体温をセンサーで測定し、暑熱順化をサポートします。測定結果はスマートフォンアプリケーション上で同期され、手軽に確認できます。さらにその診断を踏まえて冷却部分の温度が自動で調節されることで、熱中症予防にも役立ちます。この製品を使用することで、暑熱順化とその過程での熱中症予防の両方を効率よく進められます。暑熱順化する機会を逃しがちな社会人の方やお年寄りに向けた商品です。

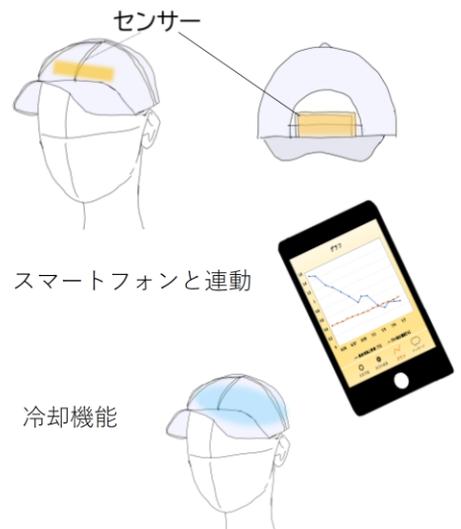
【どのような機能がある製品ですか？】

製品のセンサー部分で汗の塩分濃度や、表皮体温の変化（体温上昇度）の測定を行います。測定結果は連動するスマートフォンアプリケーション上に表示され、暑熱順化の進み具合や熱中症の危険度を提示します。熱中症の危険性が高いと判断された場合は、冷却部分の温度が自動で調節されます。さらに、生活地域の気温予測などから暑熱順化を始めるべきタイミングもお知らせします。

<製品の写真・イラスト等>

着用例

背部



スマートフォンと連動

冷却機能

(2) 解決したい課題や製品アイデアを考えたきっかけ

大学の体育実技の授業で熱中症について学び、そこで暑熱順化を知りました。また、コロナ渦におけるステイホーム期間では、外出機会が減り暑熱順化できず熱中症の危険性が上がっているという記事を読んだことで今回のコンテストに結び付けられないか考えました。暑さが本格化する前から少しずつ汗をかき、暑さになれる過程で暑熱順化をサポートし、熱中症にかかる危険性を減らす製品の必要性を感じ考案しました。